
◆ 目次 ◆

- 1 2021 年 10 月・11 月の休館日
 - 2 寄稿（令和 2 年度外務大臣表彰受賞 ヴィクトリア・ホームステイ代表 ヘレン・グリーン）
 - 3 寄稿（令和 2 年度外務大臣表彰受賞 グリーンゲートブルズ・ヘリテージ・プレイス）
 - 4 領事便り
 - （1）日本へ入国・帰国される方々へ
 - （2）領事窓口の受付時間
 - （3）2021 年在留状況確認調査 ご協力をお願い
 - （4）モンテリオール日本語センターからのお知らせ
 - （5）モンテリオール日本語補習校からのお知らせ
 - 5 広報・文化便り
 - 6 政治
 - 7 経済
- * * * * *

- 1 2021 年 10 月・11 月の休館日
 - 11 月 23 日（火）勤労感謝の日（日本の祝日）
 - 土・日曜日

- 2 寄稿 ～ 令和 2 年度外務大臣表彰受賞 ヴィクトリア・ホームステイ代表 ヘレン・グリーン ～

From Prince Edward Island to Japan !

I went to Japan to teach English, and the many experiences changed my life! I was adopted by a Japanese family, Obaachan could not speak English but communicated by smiles and body language. I have many fond memories of her giving me gifts of micane or okome. Harumi cooked me delicious meals and I travelled with her friends from the local Fujinkai.

Teaching Conversation English also gave me an opportunity to talk to many

people and learn about Japanese history, politics, culture, and the love affair with Anne of Green Gables. Many many people would say to me “Akageno Anne ikitai” .

I returned to my home in PEI and started a language school to welcome Japanese people. My goal was to give our guests from Japan the same kind of experience I had with my Japanese family. I wanted them to see our beautiful province of PEI, meet and talk with “Islanders” and visit Anne of Green Gables.

I thought that if I build it, they will come! However, after a year of being in business I did not have many students. I returned to Japan to attend an Education fair at the Canadian Embassy, and I met many companies and learned how to “recruit” students. It was very hard work to attract people to PEI – everyone knew Vancouver, Toronto and Montreal.

I have to say it has been a privilege and honour to welcome Japanese guests to PEI for the past years. I have so many memories of meals in our home, beach walks, cooking lessons, strawberry picking, star gazing, sailing, and to visit “Anne” .

Even during Covid my “connection” to Japan did not stop – I offered monthly virtual tea parties to guests all over Japan. Our guests could not come to PEI, so I brought PEI to them virtually.

I always tell our guests the saying “You can leave PEI, but PEI will never leave you – there will always be a little corner of your heart that yearns to return here” . (David Weale, storyteller)

3 寄稿 ～ 令和2年度外務大臣表彰受賞 グリーンゲートルズ・ヘリテージ・プレイス ～

Green Gables Heritage Place – part of Lucy Maud Montgomery’ s Cavendish National Historic Site and a place proudly administered by Parks Canada in Prince Edward Island (PEI) – has enjoyed a long standing relationship with Japan given the popularity of Anne of Green Gables and author L. M. Montgomery. Ever since the novel was translated into Japanese in 1936, it has been read by millions of Japanese people and each year Parks Canada welcomes

many visitors from Japan to Green Gables. Just as Hanako Muraoka received her copy of Anne of Green Gables as a gift from her good friend, Miss Shaw, the story has been a common thread in weaving many friendships that often stretch across time and distance.

In August 2021, Parks Canada was delighted for Green Gables Heritage Place to receive a Commendation from the Japanese Ministry of Foreign Affairs. The presentation by Consul General Mr. Izawa is a symbol of the friendship between PEI and Japan and represents a desire to continue this special connection into the future. As L.M. Montgomery herself once wrote, “It’s a small big world, and look how far little Anne has traveled!”

Parks Canada looks forward to welcoming “kindred spirits” of all ages and from all places to Green Gables.

Author:

Stacey Evans

Partnering, Engagement and Communications Officer, Parks Canada PEI

4 領事便り

(1) 日本へ入国・帰国される方々へ

新型コロナウイルス感染症の水際対策により、日本への入国・帰国前から事前の準備が必要です。詳しくは当館 HP をご覧ください。

【当館 HP】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

(2) 領事窓口の受付時間

当地における新型コロナウイルス感染予防を徹底しつつも、在留邦人の皆さまのニーズに適切にお応えしていくため、昨年4月1日より、以下のとおり領事窓口時間を短縮していますので、改めてお知らせいたします。

●領事窓口の受付時間

10:00～12:30、13:30～15:00

※9:00～10:00 及び 15:00～17:00 につきましても、電話による照会（緊急の場合）、メールによる照会に対応しております。

エレベーターで 33 階のボタンを押すと、総領事館のあるフロアへお越しになれます。

(3) 2021 年在留状況確認調査 ご協力をお願い

9 月 28 日に E メールでご案内しておりますとおり、当館では現在、管轄地域内において災害等の緊急事態が発生した際に、在留邦人の皆様の安否確認や、皆様に必要な情報を提供するための連絡が迅速に行えるよう、在留届の記載内容を確認する作業を行っています。

詳しくは以下の HP をご覧ください。もしまだお手続きいただけていない場合は、どうかこの機会にお願いいたします。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/files/100239962.pdf>

(4) モントリオール日本語センターからのお知らせ

●カナダ全土でのオンラインスピーチコンテスト参加者募集のお知らせ

- ・日本語学習のモチベーションを上げたい。
- ・日本語で話す自信をつけたい。
- ・アルバイトをしたいけど CV（履歴書）に書くことがない。

そんなお子様のために【カナダ・こどもスピーチコンテスト】に応募してみませんか？

詳細はこちらから → <https://tinyurl.com/256w5b2z>

登録は無料です。お子様のお名前でご応募して下さい。

多数のご応募を心よりお待ちしております！

(5) モントリオール日本語補習校からのお知らせ（オンライン入学説明会のご案内）

●新小学一年生の保護者を対象にした入学説明会のご案内

モンリオール日本語補習校では、新小学 1 年生（2022 年 4 月入学希望者）の保護者の方々を対象としたオンライン入学説明会を開催致します。

当日に入学方法につき説明しますので、入学を希望される方は必ず参加頂きますようお願い致します。

- ・開催日時：2021 年 11 月 13 日（土）午前 9:30～
- ・開催方法：オンライン（リンクは別途送付）

参加を希望される方は、10月31日（日）までに ホームページ
(<http://mtl.jpschool.web.fc2.com/>) をご覧の上で、こちらのリンク
(<https://forms.gle/VqroN9C2cERDth6c6>) より申し込みください。

ご不明な点は、下記モントリオール日本語補習校 E-mail アドレスにお問い合わせください。

E-mail : info@hoshuko.ca

5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を (culture@mt.mofa.go.jp) までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館公式 YouTube チャンネルの開設

当館公式 YouTube チャンネルを開設しました。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

当館ツイッターアカウントも開設しています。

<https://twitter.com/JaponMontreal>

(2) カナダ巡回日本映画祭

国際交流基金トロントとの共催で、カナダ巡回日本映画祭を開催します。入場無料、先着順で御入場いただきます。全て英語字幕つき上映です。

【モントリオール】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/Mtl_2021JFF_Poster.pdf

場所 : Cinematheque quebecoise

335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/>

* 新型コロナウイルス感染症の防止策・規制等につきましては、ケベック州政府及び会場となる Cinematheque quebecoise の関連ウェブサイトよりご確認ください。

(ア) 「They Say Nothing Stays The Same (ある船頭の話)」(2019/137 分)

脚本・監督 : オダギリ・ジョー 出演 : 柄本明、川島鈴遥、村上虹郎ほか

日時 : 10月22日(金) 18時

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/cinema/they-say-nothing-stays-the-same/>

(イ) 「Sea of Revival (凧待ち)」(2019/124 分)

監督：白石和彌 出演：香取慎吾、恒松祐里、西田尚美ほか

日時：10月23日（土）13時

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/cinema/sea-of-revival/>

（ウ）「Another World（半世界）」（2019／120分）

監督：阪本順治 出演：稲垣吾郎、長谷川博己、池脇千鶴ほか

日時：10月23日（土）15時45分

<https://www.cinematheque.qc.ca/en/cinema/another-world/>

【セント・ジョンズ（NL）】

場所：メモリアル大学

*新型コロナウイルス感染症の防止策・規制等につきましては、NL州政府及び会場となるメモリアル大学の関連ウェブサイトよりご確認ください。

（ア）「Thermae Romae（テルマエ・ロマエ）」（2012／108分）

監督：武内英樹 出演：阿部寛、上戸彩、北村一輝、市村正親ほか

日時：10月29日（金）18時

（イ）「And Your Bird Can Sing（きみの鳥はうたえる）」（2018／116分）

監督：三宅唱 出演：柄本佑、石橋静河、染谷将太ほか

日時：10月29日（金）20時

（3）日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●ラヴァル大学図書館エスパス・ジャポン：オンライン—日仏語ランゲージエクステンジ

ケベックと日本をインターネットソフトウェア Discord を使って繋ぎ、日本語・仏語それぞれの言語の学習を楽しみながら深めます。中級から上級レベルの方が対象です。

1月18日より隔週月曜19時～21時

参加費：無料

問合わせ・申込先：佐藤祥子氏 sachiko.sato@crchudequebec.ulaval.ca

●第50回ヌーボー映画祭

日本映画も上映されます。

モンリオールの会場にて：10月6日（水）～17日（日）

オンライン：10月6日（水）～31日（日）

<https://nouveaucinema.ca/fr>

●オンライン映画上映会：「GIFT OF FIRE（太陽の子）」

トロント日系文化会館と国際交流基金トロントの協力により、オンライン映画上映会が行われます。10月22日（金）9時から10月24日（日）21時までの間、オンデマンドでカナダ国内からのみ視聴が可能です。

「GIFT OF FIRE（太陽の子）」（2021／111分）（英語字幕付き）

監督：黒崎博 出演：柳楽優弥、有村架純、三浦春馬ほか

費用：6.99ドル

* 視聴制限は購入から46時間以内です。

<https://jccc.on.ca/ja/film/gift-fire>

●「Residuals（住み・墨）」

コンテンポラリー・ダンス公演「タンジェント」で、日系人 Shion Skye Carter 氏による「Residuals（住み・墨）」が行われます。

LIVE：10月23日（土）～26日（火）

場所：Tangente - Wilder Building - Espace danse

1435 De Bleury St., Montreal

オンライン：10月30日（土）～11月8日（月）

<https://tangentedanse.ca/en/event/boisvenue-skye-carter/>

●Schulich in Concert 「Bartok for Violin and Piano」

マギル大学音楽学院ピアノ科橋本京子教授によるピアノと Andrew Wan 氏によるバイオリンのコンサートが開催されます。

日時：10月28日（木）19時半

場所：Strathcona Music Building, Pollack Hall

555 rue Sherbrooke Ouest, Montreal

<https://www.mcgill.ca/music/channels/event/schulich-concert-bartok-violin-and-piano-332651>

●シネマニア映画祭

日本関連の映画も上映されます。

モントリオールの会場にて：11月2日（火）～14日（日）

オンライン：11月2日（火）～21日（日）

<https://www.festivalcinemania.com/fr>

●国際交流基金トロント日本文化センター主催（オンライン）イベント

日本語教師向けにワークショップや情報交換会が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 政治

(1) ケベック (QC) 州

・9月7日、州5大都市（モントリオール、ケベックシティ、ラヴァル、ガティノー、ロングイユ）の市長は、次期連邦政権に対して銃密売対策強化を求める。

・9月8日、背中のかげのためジロー (Nadine Girault) ケベック州国際関係・仏語圏大臣が数週間の予定で休養へ。同大臣不在の間国際関係とフランコフォニーのポートフォリオはギルボ副首相が、移民・フランス語化・統合ポートフォリオはブレ労働大臣が兼任する。

・9月17日、自治体選挙戦開始。モントリオール市長選は、2期目を目指す現職のプラント (Valerie Plante) 氏と、前同市長のコデール (Denis Coderre) 氏との戦いになる見込み。29日、モントリオール国際関係評議会 (CORIM) が開催した同2候補による党首討論でコデール氏は、中国政府等が自国に国連機関を誘致する動きがあり、モントリオールにある国連機関は数年以内に撤退する可能性があると言。30日、モントリオール市長選に出馬予定であったデジャルダン (Marc-Antoine Desjardins) 氏の党は、モントリオール市民に「第3の選択肢」を提供するため、もう1人の同市長候補オルネス (Balarama Holness) 氏の党に合流。

・9月24日、州政府は、銃による暴力事件対策に9000万加ドルを支出。各警察機関の連携により犯罪組織の銃調達の流れ阻止を目指す。

・9月24日、州英語教育委員会協会 (QESBA) は、仏語憲章改正のための法案96を審議する州議会文化教育委員会に出席し、法案の通りに外国人の子女が英語系学校に通える期間を3年に制限すれば、外国人の人材確保に悪影響を及ぼすとし、現行法の通り期間更新を可能にするよう求める。

(新型コロナウイルス関連)

・9月1日、ワクチンパスポート運用開始。13歳以上の人に対して、非不可欠とみなされる特定の場所やアクティビティへの立ち入り・参加の際に完全接種証明提示が義務付けられる。

・9月7日、州政府は、医療従事者に対するワクチン接種義務付けを発表。10月15日までに完全接種を受けていない場合は無給休職となる（その後、同措置の適用を11月15日から延期）。29日現在で完全接種を済ませていない医療従事者は州内で15000人。

・9月8日、メディカゴ（田辺三菱製薬連結子会社、本社ケベックシティ）は、コロナワクチン発売延期を発表。治験参加者が集まらず年内認可は間に合わない可能性。

・9月14日、州議会ウェブサイトに掲載されている、ワクチンパスポートに反対する署名が11万人に上る。

・9月21日、8月に延期が発表された州政府職員のオフィス復帰が再度延期に。新たな日程は未定。

- ・9月23日、州政府は、看護師4000～5000人増員、フルタイム率75%(現状60%)を目指し各種インセンティブを発表。公共医療機関にとどまるフルタイム看護師に対して15000加ドル、同機関に復帰する看護師に対して12000加ドルのボーナスを支給する。
- ・9月28日、州政府は、長期介護施設や民間介護施設等に入居する高齢者に対するワクチンの3回目投与を許可。保健局が推奨する2回目と3回目の接種間隔は6ヶ月。
- ・9月30日、州政府は規制の一部緩和を発表。10月8日より、劇場、映画館、コンサート会場、観客付き収録等は定員まで受け入れ可能となる。ワクチンパスポート提示、マスク着用は義務付けられる。

(連邦下院選挙関連)

- ・9月7日、モンリオール英語系教育委員会は連邦政府に対し、ケベック州をフランス語のみのNationとする州の法案96の合憲性の判定をカナダ最高裁判所に委ねるよう要求。ブロック・ケベコワは、当初同州がNationであることを認めないとした同教育委員会を非難。
- ・9月8日、ルゴー州首相は、次期連邦政府にはQC州の権限を交渉しやすいであろう保守党少数派政権を望む、自由党・NDP・緑の党の3党は警戒すべきであると発言。
- ・9月9日、英語による党首討論で、司会者がブロック・ケベコワ党首への質問の中で、政教分離に関する州法21と法案96は差別的であるとした発言が波紋。トルドー自由党党首、オトゥール保守党党首は同発言を非難。ルゴー州首相は討論主催者の謝罪を要求。

(2) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

- ・9月28日、自治体選挙実施。同州にとってコロナ禍の選挙は3回目。州都セント・ジョンズでは、現職のブリーン(Danny Breen)氏が無投票で市長続投決定済み。

(新型コロナウイルス関連)

- ・9月7日、フューリー州首相はパスポートワクチン制度導入を発表。QC州モデルを踏襲し数週間以内に実施するとのこと。(10月8日運用開始。)
- ・9月18日、マスク着用義務付けが再開。
- ・9月22日、ニューファンドランド島中央部の警戒レベルが3に引き上げられる。25日、対象地域が拡大。
- ・9月30日、入州時の隔離規則が強化される。ワクチン接種を1回しか受けていない人は未接種者と同じ扱いとなり、PEI, NS, NB州からの入州も国内他州からの入州と同じ規則が適用となる(アトランティックバブル停止)。
- ・9月30日、州政府は、第4波で深刻な状況にあるアルバータ州に医療スタッフを派遣することで合意。

(3) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

- ・9月22日、垂井首席領事は同州を訪問し、ヘレン・グリーン氏に対する外務大臣表彰伝

達式を実施。

（新型コロナウイルス関連）

・9月7日、州政府は、9月12日に開始予定であった緩和再開計画の最終段階である第5フェーズ移行を延期。ワクチンパスポート制度は10月より導入すると発表。（10月5日運用開始。）

・9月17日、屋内公共施設におけるマスク着用義務付けが再開。

・9月25日、州政府は、州外への不要不急の往来自粛を要請。

・9月30日、年齢やワクチン接種状況に関わらず入州時のコロナ全員検査義務付け開始。

（4）ノバスコシア (NS) 州

・9月23日、ヒューストン州首相は、今年12月より、ホームドクターのいない全ての人（9月現在75000人）にバーチャルケアを提供すると発表。前自由党政権が一部地域で試験実施していたプログラムに130万加ドルを追加支出する。

・9月30日、州保健当局は、医療支援による死 (Medical Assistance in Dying (MAID)) の需要増加にともなう大幅な待機者増に対応するため、同プログラム紹介受付の30日間停止を発表。

（新型コロナウイルス関連）

・9月8日、ヒューストン州首相は、ワクチンパスポート制度導入を発表。（10月4日運用開始。）

・9月14日、州政府は、9月15日開始予定であった緩和再開計画の最終段階であるフェーズ5移行を10月4日に延期すると発表。NL, PEI 州からの入州について継続していたアトランティックバブルも10月4日から停止に。

・9月29日、州政府は、医療従事者、長期介護施設職員、教職員等にワクチン接種義務付けを決定。11月30日時点でワクチンの完全接種を受けていない場合は無給休職となる。

（5）ニューブランズウィック (NB) 州

・9月13日、連邦総選挙戦中、キャラケット（州北東部）で予定されていた、ブランシェ (Yves-Francois Blanchet) ブロック・ケベコワ (BQ) 党首と NB アカディア協会 (SANB) との会談が直前に中止に。BQ はアカディア系連邦議員からの圧力があつたとする一方、SANB はオタワにおけるアカディア人代弁者をうたう BQ に不快感。

（新型コロナウイルス関連）

・9月20日、セントジョン市で、ワクチン接種を受けていない市議会議員・市職員に対する、定期的なコロナ検査とマスク着用義務付け開始。

・9月22日、州全域でワクチンパスポート (proof of vaccination) 運用開始。ビジネス側は12歳以上の全ての人にワクチン証明の提示を求めなければならない（QRコードは準備

中)。また、公共屋内施設におけるマスク着用、入州事前登録、ならびにワクチン完全接種を済ませていない人に対する入州時最大 14 日間の隔離義務付けも再開される。

・9 月 25 日、州政府は、非常事態宣言を再発出。集まりや店舗の人数制限、対人距離規制が復活。今後宣言は入院者数に応じて 2 週間毎に見直され、10 人未満で解除、25 人以上で再発出される。

【各州世論調査結果（未確定分は除く）】

(1) 州政党支持率

・NL 州（ナラティブ・リサーチ (Narrative Research) 調べ（以下同じ）、8 月 9～29 日）：
自由党 53%，進歩保守党 (PC) 28%，新民主党 (NDP) 18%，緑の党 1%
・PEI 州（8 月 9～25 日）：PC 48%，緑の党 28%，自由党 17%，NDP 7%
・NB 州（8 月 5～17 日）：PC 33%，自由党 29%，緑の党 22%，NDP 11%，ピープルズ・アライアンス 5%

(2) モントリオール市長選（11 月 7 日投票日）

・レジェ (Leger Marketing) 調べ、9 月 14～19 日）：プラント (Valerie Plante、現職) 36%、コデール (Denis Coderre、前職) 37%、オルネス (Balarama Holness) 8%、その他 19%

7 経済

(1) QC 州

・9 月 13 日、エアバスは、アメリカの格安航空会社 Breeze Airways より A220-300 型 20 機を追加受注（合計で 80 機受注）。元ボンバルディア C シリーズである同型機は主に米アラバマ工場で組み立てられるが、一部作業はミラベル工場で行われる予定。

・9 月 14 日、ボンバルディアは、同社のビジネスジェット・ベストセラー機の一つ「チャレンジャー350」の新バージョンとして自社資金で開発した「チャレンジャー3500」を発表。キャビンのデザインは一新され、組み立て、仕上げは州内で行われる。30 日、ボンバルディアはチャレンジャー3500 型 20 機を受注。取引額 5.34 億米ドル、顧客の名前は明らかにせず。

・9 月 16 日、豚肉加工大手オリメル (Olymel) は、Henryville（モンテレジ地域）工場閉鎖を発表。

・9 月 21 日、ハイドロケベック (HQ) は、米ニューヨーク州に 2025 年から 25 年間、10.4 テラワット時 (TWh) の電力を供給する契約を受注。HQ 史上最大の輸出契約となる同プロジェクト Champlain Hudson Power Express (CHPE) では、加米国境からニューヨーク市までの約 545km の地下および河川下の送電線を敷設する。QC 州側で建設される 60km 区間については、HQ とカナワゲ・モホーク評議会 (Conseil des Mohawks de Kahnawake) が共同所有者となる。

・9 月 22 日、2021 年のブルーベリー生産は、早過ぎた春の訪れ、遅霜、夏の乾燥のため過去 10 年間で最悪の年に。

・9月23日、ユニクロは、2022年春に CF Fairview Pointe-Claire と CF Promenades St. Bruno に州内3・4号店を開店すると発表。

・9月28日、テキサス州に本社を置く Jaunt Air Mobility 社は、ケベック州における電動垂直離着陸航空機製造工場開設に向け連邦・州政府からの財政支援申請中。工場立地は Dorval, Mirabel, Saint-Laurent, Saint-Hubert が有力とみられ、航空機は2026年には認証取得予定。

・9月29日、ルソー州首相は、11月にスコットランド・グラスゴーで開催予定の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)への参加を表明。首相となってからのCOP参加は初。

(2) NL 州

・9月9日、カルガリーの石油大手サンコーエナジー(Suncor Energy)は、テラ・ノヴァ(Terra Nova)オフショア油田再開を発表。浮体式生産貯蔵積出設備(FPSO)の延命工事を行い2022年末までに操業再開を目指す。またサンコーは、セノバスエナジー(Cenovus Energy)とともに出資する別のオフショア油田プロジェクト・ウエストホワイトローズ(West White Rose)についても、出資比率の増減とともに再開を調整検討中であると発表。

・9月22日、ミアウプケック(Miawpukek)ファーストネーションは、LNG Newfoundland and Labrador が進める液化天然ガスプロジェクトに資本参加を表明。先住民のオフショアエネルギープロジェクトへの参加は州内初。ジャンヌダルク海盆の4つの油田近くにガス生産施設建設、600kmの海底パイプライン敷設、LNGをヨーロッパに輸送するための専用船建造に必要な費用は100億ドル。

(3) PEI 州

・9月28日、州第2の都市サマーサイド市は、5500万加ドルの太陽光発電所建設を Aspin Kemp 社(本社モンタギュー(同州東部))に発注。同市がサムスン・リニューアブル・エナジーと2017年に締結した3フェーズからなる覚書の第2フェーズにあたる同プロジェクト(Summerside Sunbank)は、約30ヘクタールの敷地に21メガワットのソーラーファームと10メガワットの蓄電システムで構成され、同市内で稼働中の12メガワットの風力発電所を合わせると、同市の電力需要の62%を再生可能エネルギーで賄うことを可能にするというもの。2022年秋完成予定。

(4) NS 州

・9月23日、ヌナブト準州のイヌイット漁業2団体は、水産大手クリアウォーター(Clearwater、本社ハリファックス)が保有していた同準州沿岸漁業ライセンスを、今年1月に同社を買収したミクマク・ファーストネーション連合他に譲渡するとの決定の無効を求め連邦政府を提訴。ヌナブト準州漁業者は、大西洋州漁業者は自州沿岸の全漁獲割当量の90%を保有しているのに対し、同準州漁業者は自州沿岸の全漁獲割当量の50%しか保有していないのは不公平であると主張。

(5) NB 州

・9月1日、州内で「タバコ風味」を除く電子タバコ製品(vaping products)の販売が禁止される。

・9月23日、地方部に特化したインターネットサービス企業 Xplornet(本社同州ウッドストック)は、人口の少ない地域で超高速インターネットにアクセスすることを可能にする第5世代(5G、サプライヤーはエリクソン)ネットワーク整備を始めると発表。整備工事はNB州から始まり、2022年中には国内250ヶ所に展開予定。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止(又は登録解除)」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ (www.kantei.go.jp)

外務省ホームページ (www.mofa.go.jp/mofaj/)

在カナダ日本国大使館ホームページ(www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館ホームページ(https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

当館 Facebook (www.facebook.com/JapanConsMontreal)

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当 (emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■